

RI300:2021 V3 (案) に対するコメント対応結果

No.	コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント区分	コメント内容	提案	JAB 事務局対応案 (凡例 ○:採用、△:修正等、×:不採用)
1	徳田かえで	8.2.1 n1	1, 2	E	JIS Q 17020 8.1.2 及び ILAC P15 に沿った表現とすべき。	「その方針及び目標は、検査機関の力量、公平性および一貫性ある運用を扱うものであること。」のように訳す。	○ 該当部分を「その方針及び目標は、検査機関の力量、公平性および一貫性のある運用に <u>対処</u> しなければならない。」に改めます。
2	徳田かえで	6. 附属書 1	12	G	原文は situation。JIS Q 9001 や JIS Q 0073 は、context を「状況」と訳している。	原文に対して： 次の版の ILAC P15 で ISO 31000, ISO Guide 73 などを参照し、situation の代わりに context を使用して用語を統一して頂きたい。 (和訳は JIS Q 0073 / JIS Q 31000 などを意見募集の前に参照し、訳語をそろえて頂きたい。)	○ ILAC 文書の開発に関するご助言をありがとうございます。 × 当該表の凡例に記載する situation に対応した訳語としては、「状況」が適切であると考えられ、このままといたしました。
3	徳田かえで	7. 附属書 2 1	4	E	原文は exclude。	「除外する」->「除く」	○ 該当部分を、「タイプ A の独立性要求事項は、公平性への信頼を高めることを意図しており、ある特定の公平性リスクが除かれるに過ぎない。」に改めます。
4	徳田かえで	7. 附属書 2 1	5	E	原文は are meant。	「目的」->「意図」	
5	蛭川 玲	序文	22	E	原文は certification	「校正」->「認証」	○ 誤記でしたので、該当部分をご提案の通り変更します。
6	蛭川 玲	5.2.4n1	1	T	原文には以下の記述があるが欠落している “in order to take into	相当する和文を追加。	○ 原文に相当する訳文「検査活動への関与及び影響を考慮するため、」を追加します。

注：コメント区分には、必ず「G (全般に関するコメント)」、「T (技術的コメント)」又は「E (編集上のコメント)」の区分をご記入ください。

No.	コメント提出者 (敬称略)	条項 No.	行 No.	コメント区分	コメント内容	提案	JAB 事務局対応案 (凡例 ○：採用、△：修正等、×：不採用)
					account the involvement and the influence they may have over the inspection activities.”		
7	蛭川 玲	6.1.6n1	1	E	原文には項番 6.1.6 の明記がなく、item b とだけ書かれている。	和文も同じにしたほうがよい。 6.1.6 b)項で言及される→ b)項で言及される	○ 原文を変更することなく採用する主旨に沿い、該当部分の”6.1.6 b)項”を、”b)項”に改めます。
8	蛭川 玲	6.1.9n1	4	T/E	原文は” positive outcome of monitoring” だが、旧版の表現が残っている。	原文に合わせて変更する。	○ 原文を変更することなく採用する主旨に沿い、旧版の例示は削除します。
9	蛭川 玲	6.2.6n1	2	E	原文は” shall”	原文に合わせて変更する。	○ 改定箇所の見落としでした。「記録しなければならない」に改めます。
10	蛭川 玲	An3	5~	T/E	原文で削除された補足説明が残っている。	原文に合わせて変更する。	○ 原文を変更することなく採用する主旨に沿い、旧版の補足説明を削除します。

注：コメント区分には、必ず「G（全般に関するコメント）」、「T（技術的コメント）」又は「E（編集上のコメント）」の区分をご記入ください。